

研究レポート No.551 岩手県農業研究センター

キビ、アワの機械化栽培マニュアルの策定

【1 成果の内容】

○畑地を主体としたキビ、アワ栽培における、播種～除草～収穫・乾燥・調製の機械化栽培マニュアルを作成しました。

○キビ、アワの機械化栽培マニュアルは、作業時期の目安と、圃場準備、播種、除草、培土、収穫、乾燥・調製の6つの各作業、および各作業の作業能率の8章から構成されています(図1)。

○作業の実施時期については、栽培暦により視覚的にわかるように示し、作業方法や作業上の留意点などについて、写真や図表によりわかりやすく解説しています。特に、栽培のポイントとなる除草作業や収穫作業については、作業時期の判断方法や作業精度を高めるような作業機械の調整法、理想的な仕上げ方法や作業後の状態などについて詳しく解説しています(図1)。

1. 作業時期の目安

品目	4月		5月		栽培暦により作業時期を明示												
	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
キビ	耕起	堆肥散布・耕起	耕起・播種	早期培土1													
			出芽前中耕	早期培土2													
				仕上げ培土(0~2回)													
アワ	耕起	堆肥散布・耕起	耕起・播種	早期培土1													
				早期培土2													
				仕上げ培土(0~2回)													



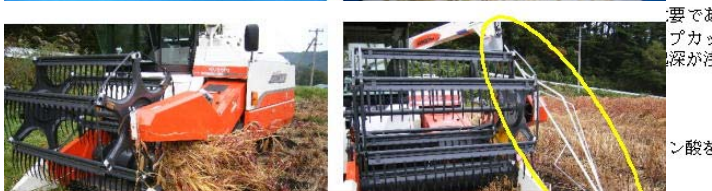
図6 乗用型管理機に装着した耕起爪の配列例

図7 歩行型管理機に装着した耕起爪の配列例

各作業の内容を写真や図表により

わかりやすく解説

刈り取り適期判定シートを用いて収穫時期を判断



収穫損失低減のためのデバイダの改良法

図23 アワ収穫中の様子

図24-① デバイダ改良後

デバイダ改良前の状態。収穫作業中にリールサイドカバー下の隙間に刈り取られた雑穀が溜まり、作業が中断したり、ヘッドロスが増える原因になる。

デバイダ改良後の状態。鋼材を溶接して作ったアームを装着することで、作業中の雑穀の溜まりが減少。



図8 乗用型管理機による早期培土の様子

図9 歩行型管理機による早期培土の様子

図10 キビの早期培土後の様子

図11 アワの早期培土後の様子

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

軽い培土

図1 キビ、アワ機械化栽培マニュアルの内容

【2 留意事項】

本マニュアルは、キビでは「釜石 16」と「田老系」を、アワでは「大槌 10」と「虎の尾」を供試して、主に県北の畑地帯向けに作成したものであり、作業方法については機械作業を前提としております。また、岩手県内の主な雑穀栽培地域の関係機関(農協、普及センター、振興局)を通じて県内の生産者にのみ配布する予定です。